



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
 事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
 e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp

会長／池田 修平 幹事／中野 欣哉 クラブ会報委員長／青木 宏
 SAA／小山浩太郎 副 SAA／若麻績信昭

第1322回例会 2014年（平成26年）12月19日（金）

ロータリーに輝きを LIGHT UP ROTARY

会長挨拶

池田修平会長

12月です。昔の言い方では「師走」と言います。師走の意味は、坊さんがこの時期にお経をあげる依頼が多いので忙しく走り回るのが所以だと言われています。他には先生が忙しく走り回るから、とも言われています。また12月と書いてシハスと言うようです。

12月の末日は大晦日といいます。毎月の末日は晦日と言いまして、旧暦では2月19日が大晦日になります。この時は行事として、年越し蕎麦を食べます。また除夜の鐘を108回撞いて百八煩惱を祓うことで煩惱を取り除き清らかな心で正月を迎えるようにしたみたいです。なお最後の一回は年が明けてから撞きます。

二年参り（初詣）、お雑煮を食べる事、長野県では御年取りと言ってご馳走を食べる行事があるようです。

幹事報告

中野欣哉幹事

* 第6回クラブ協議会報告

- ・例年にならない年賀状は欠礼します。
- ・世界寺子屋キャンペーン書き損じはがき回収協力をお願いします。例会場に回収箱設置。
- ・次週26日、1月2日休会。1月9日初例会は、ノンアルコールビールにて乾杯。
- ・3月14日の新長野駅開業を祝い長野駅西口前の噴水跡地に「光輝」という鶴をシンボルとしたモニュメント建設につき、7/1現在会員数で、53万円を寄付送金。2月除幕式予定。
- ・先にお伺いしました、宮原友昭さん入会決定。初例会に出席予定。
- ・米山記念奨学会より米山功労クラブ感謝状授与 累計14,005,000円 第14回功労米山クラブ (100万円を超えるごとに表彰)

創立30周年準備委員会について

2014~15年度における創立30周年準備委員会の委員として下記の方々が委嘱され承認されました。

委員長：綿貫 隆夫 副委員長：高井新太郎

委員：福澤 寛 布施慶典 飯田弘己 小池裕孝 松本克幸 中野欣哉 高橋英司

14~15会長 池田修平 幹事 中野欣哉 15~16会長 清水光朗 幹事 小山浩太郎

16~17会長 竹村利之 15~16ガバナー補佐 伊東義次

2014~15年度における創立30周年準備委員会の作業計画

1. 創立30周年記念事業の概略を決定
2. 2015~16年度創立30周年準備委員会編成の策定

1月9日 プログラム 新年初例会 会員卓話 清水光朗 会長エレクト

出席・ニコBOX報告 小池裕孝例会運営委員長

12/19 (会員54名) 出席27名前々回修正出席率91.11%

- ・高橋英司さん・山口和彦さん・瀧澤 聡さん
☆今年一年間お世話になりました。先週の楽しいクリスマス会をありがとうございました。
☆良いお年を！！
- ・青木 宏さん☆高井委員長、年末家族会盛会でした。山本さん、毎年素晴らしい演奏をありがとうございました。クラブより写真代を頂きましたが大した働きもしていませんのでニコBOXに入れさせて頂きます。
- ・小林健治さん☆良いお年を・・
- ・柄澤重登さん☆年末家族会、沢山プレゼントありがとうございました。孫がいつも出欠でお世話様です。☆地区補助金管理セミナーでは小山さんお世話になりました。
- ・南 信行さん☆本日食後の安眠時間に卓話で、お邪魔します。

・合計 32,500円 ・累計 442,258円

年末家族会報告 高井 亘会員家族委員長

年末家族会には総勢101名の出席があり盛大に開催できました。ご協力ありがとうございました。また、青木さんから写真をまとめたCDとプリント写真を頂きました。ありがとうございます。1月30日には創立記念例会を18:30～ます栄さんにて開催。スケジュールにお入れ下さい。



例会場の秩序を保つための最高の権限を持つのがSAA (会場監督)です。

例会案内

1月16日 会員卓話 吉田真砂彦さん

1月23日 *例会場：2階 弥生の間に変更

会員卓話 南 信行さん

「ポール・ハリスと言う人」



ポールハリスは1868年（日本の明治元年）、シカゴの北、ミシガン湖畔の町ラシーンに生まれました。7年前にはシカゴを地盤とするリンカーンが大統領となり、65年まで南北戦争のあった時代です。

ポール3才の時、両親が事業に失敗し、アメリカ東海岸バーモント州の港町ウォーリングフォードに住む父方の祖父母の元に預けられます。その後も両親の2度の倒産により、両親とは生き別れかと言う不幸な人生を歩む事になります。

少年時代は喧嘩早く問題児で、高校・大学と退学処分、転校をくり返します。祖父の死去をきっかけに改心し、アイオワ大学法律学科を卒業、直ちに弁護士資格を取得しますが、その後の5年間は、見聞を広げる為、アメリカ国内からヨーロッパまで放浪の旅をします。旅費と生活費のため5年間で20種類を越える仕事に就きました。

5年目の1896年（28才）にシカゴで弁護士開業し、仕事も軌道に乗り始めた1900年の夏のある日、友人宅での晚餐後の散歩の折、友人が近隣の商店主・実業家の間に多くの良き友人を持っている事実を知り、ポールも同じような人間関係の構築を望みます。

1905年2月23日、ロータリーの第一回会合で「みんなで親類付き合いをし、助け合おうじゃないか」と熱っぽく説きました。その時決めたロータリー独得の一業種一会員は、同業者がいなければ利害関係での喧嘩も起きず、会員間の互惠取引で助け合えるからと言うものでした。

ロータリーと言う名称は、会合を会員の事務所をローテーションで開き、役職と会員身分も一年限りのローテーションにする事で会合への参加意識を常に新鮮に保ち高めるようにと名付けられました。また、会合を品位あるよう進行するために会場監督（SAA）と言うヨーロッパ中世の制度を取り入れました。

以上のように、ポールハリスが設計したロータリークラブの、第一の目的は、会員同士の親睦・互惠・相互扶助だと信じています。

後にポールハリスはこう言っています「少年時代を思い起こすような親密な友誼を享受すべき絶好の機会を供すべき絶好の機会を供するものであり、この点においてロータリーは沙漠のオアシスであった。」